

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	食を通じた地域の支え合いの仕組みづくり
資金分配団体名:	一般社団法人全国食支援活動協力会
実行団体名:	特定非営利活動法人 フードバンク香川
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	香川県
事業対象者:	市町村協や社会福祉施設、子ども・子育て支援団体、生活困窮者等

Version 3.2
日付: 2022年3月16日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>社会福祉施設や社会福祉協議会に冷凍冷蔵庫を設置し、フードバンク拠点を増やすことで、企業や住民が気軽に寄付できる身近なフードバンク活動を促進する。また、運送会社やタクシー会社の地域貢献の取組みと連携し、食糧を速やかに県内各所へ配送するルートを確認する。</p> <p>また、社会福祉協議会や母子生活支援施設、ひとり親支援団体等へ食糧提供を行い、支援のツールとして活用していただくことを通じて、社会的孤立や経済的困窮によるしずらさを抱える人・世帯の早期発見や生活再建に向けた支援に取組む。</p> <p>県社会福祉協議会（当団体事務局）と連携し、住民や社会福祉法人施設、企業等にフードバンク活動の広報啓発に取組む。</p>
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>長引く新型コロナの影響を受け、食糧支援を必要としている生活困窮者世帯が増加している。そのような中、子ども食堂等への支援やフードロスの活動として個人や企業、学校等から、フードバンクへの寄付は年間26.3 t（R4.2時点、昨年度は年間15.5 t）と増加した。</p> <p>寄付いただいた食品は、県内4箇所に設置した拠点を中心に、各支援団体へ速やかに配付することが可能になったが、配送の日程が直前まで分からないことなどから、ボランティアや運送会社へ依頼することは難しかった。また、取り扱う量が増加しており、マッチングに苦慮することも出てきている。</p> <p>次年度以降も継続して活動ができるような当団体及び拠点の体制整備・強化や資金調達について、検討していく必要がある。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
その他	その他	・フードバンク活動の住民や企業・団体への浸透。	・広報・啓発（チラシ配布やフードドライブの実施）	・チラシ1,000枚配布 ・定期的にご寄付いただける個人や企業団体の増加	・チラシ作成、随時配付 ・68団体・60個人から 26.3 t（R4.2末時点）の寄付	・ボランティアによるチラシを作成した。 ・団体として取り扱う量に限界を感じ、積極的に周知することができなかった
生活困窮者	連携の不足	・琴平町社会福祉協議会と母子生活支援施設と関連のある障害者支援施設にフードバンク拠点（冷凍冷蔵庫）を設置し、県内における食糧の受配体制を整備。	・取扱い食糧の量	・取扱い食糧昨年度120%（164か所、18.6 t）	上記のとおり寄付があり、累計210団体へ配付した	・拠点（冷凍冷蔵庫）の整備により、受入れ可能な食糧の種類及び量は増加した。 ・他事業と連携し、生活困窮者支援団体や子ども食堂等幅広く配布できた。
その他	連携の不足	・ボランティアや運送会社、タクシー会社の地域貢献活動の協力による配送ルートの確保。	・協力者、企業・団体の増加	・ネットワークによる配送ルートの確保	・タクシー会社への説明 ・「お届けボランティア」養成講座開催 1回、受講2名	・運送会社及びタクシー会社から協力の意向はいただいている。 ・食糧の受渡に協力していただくボランティア養成に取り組んだが、実際の活動には至っていない。今後もその都度、協力依頼をしていく。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>フードバンクへの寄付を増やす（R2年度実績：137か所（82団体・55個人）から15.5 tの寄付）</p> <p>フードバンクの寄付や配送に協力して下さる人や企業・団体を増やす。</p> <p>人手や費用が課題となっている食糧配送のルートの整備。</p>
考察等	<p>寄付量の増加（68団体・60個人から 26.3 tの寄付（R4.2末時点））</p> <p>新規寄付者の増加（29団体・47個人）</p> <p>県内にハブ拠点を設置することで、近隣の団体が受取をしやすい環境を整備した。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
・フードバンク活動について、県社協にある多様なネットワーク（子ども支援や生活困窮、災害、社会福祉施設）や企業、住民へ周知、寄付や活動への協力を促進する。	ほぼ計画通り	長引くコロナ禍の影響やSDG s の取組推進により、住民や企業のフードバンクへの関心が高まり、協力的な住民・企業が増え、寄付量も増加したが、事務局の体制に限界があり、積極的な周知や協力依頼はできなかった。 また、新型コロナ等による生活困窮者の増加や子ども食堂の活動等が周知され、子ども等への支援の視点によるものとフードロス削減による寄付が混在しており、寄付者の意向に沿った対応が必要になることがわかった。
・県内の17市町社会福祉協議会や母子生活支援施設・障害者支援施設を拠点として、ネットワークによる食糧の受渡の体制を整備する。	ほぼ計画通り	県内4か所を拠点として、食糧の受渡体制を整備した。関係機関が顔の見える関係となり、包括的な支援につながることを期待していきたい。
・企業やボランティアの協力によるフードバンク配送ルートを整備する。	遅延あり	企業やボランティアから協力の意向はいただいているが、整備には至っていない。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	特になし
---------------------	------

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	拠点を整備したことにより、受入れ可能な食糧の種類や量が増加したことにより、生活困窮者や子ども食堂等への配布が充実した。 フードロス削減と子どもの支援への異なる視点の寄付があるため、対応に留意していく必要がある。 団体の活動を継続していくための拠点や財源確保が必要となる。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
香川県社会福祉協議会	市町社会福祉協議会や子どもの未来応援ネットワーク事業に参加している居場所との連携による食糧の受渡。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	3,208,000	3,067,743	95.6%
	管理的経費	792,000	792,000	100.0%
合計		4,000,000	3,859,743	96.5%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	高松東高校新聞（2021.9.30発行） KSBニュース 香川ファイブアローズ様によるご寄付 https://news.ksb.co.jp/article/14465202
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	チラシ
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	
4.報告書等	

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	役員会に諮れていない。役員会で承認後、整備と考える。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。	・経理規程や事務処理要領、個人情報保護方針等を作成した。	
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	役員会に諮れたくないため。役員会で承認後、公開する。
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	いいえ	規程類について、整備が完了していないため。
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	